

病 院 開 設 事 前 協 議 書

((仮称) 恒生鹿の子台病院)

病院開設事前協議書

1. 開設者に関する事項

(開設者が医師である場合)

氏名		医籍番号	
住所	TEL		
開設者が現に病院若しくは診療所を開設管理若しくは勤務している場合には当該医療機関の概要	区分	開設・管理・勤務	
	施設の種類	病院・診療所	病床数 一般精神 結核 床
	名称		
	所在地		
	診療科目		

(開設者が法人である場合)

法人の種類	医療法人社団	設立年月日	昭和63年8月3日		
名称	六心会				
主たる事務所の所在地	神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ 1788 番地				
代表者	氏名	古瀬 繁	住所		
法人の目的、事業	病院及び介護老人保健施設を經營し、科学的でかつ適正な医療及び疾病・負傷等により寝たきりの状態にある老人に対し、看護、医学的管理下の介護及び必要な医療等を普及することを目的とする。				
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名称	所在地	病床数	備考
	病院	恒生病院	神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ 1788 番地	109	
病院	伊丹恒生脳神経外科病院	伊丹市西野 1 丁目 300 番 1 号	80		
自己資本比率 (医療法人の場合)	11.6%				

2. 開設しようとする病院の概要

(1) 基本的事項

名 称	仮称：恒生鹿の子台病院			
開 設 の 場 所	神戸市北区鹿の子台北町8丁目5番12			
開 設 予 定 年 月	平成31年4月予定			
診 療 科 目	内科・消化器内科・リハビリテーション科			
病 床 数	55床 (一般 55床・精神 床・結核 床)			
	病床機能区分(医療法施行規則第30条の33の2)による分類 (高度急性期 0床、急性期 0床、回復期 55床、慢性期 0床)			
特 色	地域包括ケア病床			
開設趣旨及び 病床数設定の考え方 ・ 提供する医療の内容 ・ 当該地域の医療事情 ・ 近隣医療機関との連携等	基準看護又は新看護の内容(予定)	13:1		
	療養病床設置の予定	有(床) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	老人特定許可の予定	有(床) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
	規則第30条の32第1項の規定による特例	有(号床) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
	<p>地域包括ケア病床により近隣医療機関、特に急性期病院(済生会兵庫県病院、三田市民病院、恒生病院等)との在宅復帰に向けた連携、また在宅医療患者・施設入所者の急変時の受け皿としてのバックベッドの確保に寄与することを目的とします。</p> <p>さらにはレスパイト入院にも対応し、地域に開かれたオープンスペース(地域交流ホール)を提供することで地域包括ケアに貢献したいと考えています。</p> <p>病院開設と同時にサ高住、デイケアも併設し、また、現在法人で所有する訪問看護・訪問介護・訪問リハビリ・居宅支援事業所を今回の建築と合わせて移転・集約し、より充実した総合医療・介護・福祉センターを設立する構想です。</p> <p>上記施設を開設すれば医師会、診療所医師、介護施設、訪問看護、ケアマネージャーとの連携に今以上に弾みがつくと思われま</p>			
敷地 の 状 況	面 積	9704.40 m ²		
	自己所有予定 の 場 合	取得の状況	<input checked="" type="radio"/> 取得済 <input type="radio"/> 取得交渉中 <input type="radio"/> 未交渉	
		交渉状況		
	自己所有予定 でない場合	所 有 者		
		使用形態	賃貸借 <input type="radio"/> その他 () <input type="radio"/>	
他法令解除 の 必 要 性	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 内容 []			
状 況 建 物 の	構 造 概 要	鉄骨造 5階建 延床面積：7434.08 m ² 上記延床面積の内、病院延床面積：4384.57 m ²		
	所有予定者	医療法人社団 六心会		

	自己所有予定でない場合の使用形態	賃貸借 ・ その他
周囲の状況	交通機関	神戸電鉄 「道場南口駅」より徒歩8分
	近隣の状況	今回取得した土地は鹿の子台の東の一角にあり、平成28年12月に取得しております。また、隣地も同時に造成中であり、約200戸程度の宅地分譲の予定であり、人口の増加が予想されます 道路向かいには食品スーパーとホームセンター、レストラン、家電量販店があり、人の行き来が多い環境です。 神鉄「道場南口駅」からは、西側から上方に見渡せるところです。

(2) 施設及び構造施設に関する事項

法定施設	診察室	5ヶ所：59.40㎡ (科目：内科・リハビリテーション科・消化器内科)		
	処置室	3ヶ所：45.43㎡ (科目：内科、消化器内科、リハビリテーション科)		
	手術室	0ヶ所	臨床検査施設	1ヶ所：44.97㎡
	エックス線装置	有		
	調剤所	1ヶ所：50.10㎡	消毒施設	0ヶ所
	給食施設	1ヶ所：342.15㎡	洗濯施設	1ヶ所：6.00㎡
	給水施設		暖房施設	
	汚物処理施設	1ヶ所：10.83㎡		
	分べん室	0ヶ所	新生児の入浴施設	0ヶ所
	機能訓練室	1ヶ所：226.54㎡	談話室	2ヶ所：50.44㎡
	食堂	1ヶ所：41.40㎡	浴室	1ヶ所：18.00㎡
病室	1床室	7室：91.85㎡	1床室	㎡
	2床室	2室：36.92㎡	2床室	㎡
	4床室	11室：359.79㎡	4床室	㎡
その他の施設	<ul style="list-style-type: none"> ・通所リハビリテーション (30名) ・サービス付高齢者向け住宅 (48室) ・地域交流センター 			
階段、	室内直通階段	2ヶ所、幅：1.2m、蹴上げ：18cm、踏面：26cm		

エレベーター	避難階段		1ヶ所	エレベーター	2ヶ所
設 備	放射線関係	診療用엑스線装置	有	直接撮影装置、間接撮影装置、透視装置、CTスキャナー、その他()	無
		診療用高エネルギー放射線発生装置	有	直線加速装置、ベータトロン、(リニアック、ライナック)、その他()	無
		診療用放射線照射装置	有	⁶⁰ Co 照射装置、 ¹²⁵ I 骨成分分析装置、その他()	無
		診療用放射線照射器具	有	管、針、球、ビーズ、板、アプリケーション、その他()、使用核種()	無
		診療用放射線同位元素	有	(使用核種)	無
備	臨床検査施設		有	消毒施設	無
	消防用施設		有	防火施設	有
	その他の施設		機能訓練室		

(3) 人員に関する事項

管理者	氏名	予定：田村 昌吾	医籍番号	
	住所			
	主たる経歴	現：医療法人社団 六心会 恒生病院 副院長		

人員配置計画							
職名	必要数	予定数	確保済人員	職名	必要数	予定数	確保済人員
医師	5.375	3+5 (非)	1+2 (非)	薬剤師	2	2+1 (非)	
看護師	13	14	3	栄養士	0	1	
准看護師	8	8		放射線技師		1	1
看護補助者	0	10		調理師		0: 委託	
臨床(衛生)検査技師		1		事務員		4+3 (非)	
理学療法士		3	2	その他		1	
作業療法士		3	1	計	28.375	51+9 (非)	8+2(非)
					5		

(4) 人員算定根拠 (計算式)

一般病棟 (55床)

【医師および看護師等の配置基準】

(想定) 一日平均入院患者数 50人 (90%)
外来患者数 100人
外来取扱処方箋数 100枚

④医師数算定式

$$50 + 100 / 2.5 = 52 = 38$$
$$38 / 16 + 3 = 5.375$$

5.375人配置

④看護師及び准看護師数算定式

$$X = 50 / 3 = 16.66$$

$$Y = 100 / 30 = 3.33$$

$$X + Y = 19.99$$

$$* \text{准看護師 } 20 \text{人} \times 70\% = 14 \text{人}$$

2.1人配置

④薬剤師数算定式

$$50 / 70 + 100 / 75 = 2.047$$

2人配置

(5) 関係者との協議に関する事項

関係者	協議状況
地元医師会	既に意見書を受領しています。(添付)
市保健医療審議会 医療専門分科会	7月28日(金)に審議予定です。
その他	

注) 地元医師会、医療専門分科会については、意見書等を添付すること。

神北医発第2号
平成29年4月14日

医療法人社団六心会
理事長 古瀬 繁 様

神戸市北区医師会
会長 高原 哲夫



意見の通知について

本医師会は、貴法人が平成29年3月29日付で願い出られました、「(仮称) 恒生鹿の子台病院・回復期病棟（地域包括ケア病床）」新規開設の件につきまして、審議の結果、次のとおり意見をお知らせします。

記

(仮称) 恒生鹿の子台病院におかれましては、北神地区、特に八多、淡河、道場地域並びに三田市における地域包括ケアシステムへの更なる支援を行われるよう望む。近隣の急性期病院並びに診療所の後方病院として機能され、在宅医療の充実に向けて、医療介護サポートセンターとの連携を望む。

以上

新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書

病院名	仮称：恒生鹿の子台病院	所在地	神戸市北区鹿の子台北町8丁目5番12		
電話番号	078-950-2622	二次医療圏域名	神戸市	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色（提供しようとする医療の内容）

(1) 医療の分野について（対象患者、診療科目等について）

急性期病院からの在宅復帰を目指した退院患者、在宅医療を受けている患者ならびに高齢者施設入所者の急変時の受け皿としての回復期機能を目的とします。
 診療科：内科、消化器内科、リハビリテーション科を中心とした回復期機能

(2) 医療の専門性について（設備・医療スタッフ等についても記入すること。）

内科を中心に、消化器内科、リハビリテーションの医師を配置、セラピストも基準人数以上を確保して、回復期リハビリテーション病院と同等のリハビリを提供する計画です。
 また在宅患者の急変時の入院やレスパイトの受入を中心に地域医療を支える事を目的とします。
 一般病床（13：1）とし、一般的な病院施設整備を行います。
 内視鏡、エコー、一般撮影装置、CT装置の設置

2. 当該診療圏域の状況

神戸市北区を中心として、三田市、および三木市、西宮市の一部地域が対象地域で、人口約25万人です。地域には回復期病床はまだ十分に設置されておらず、将来的に地域包括ケアを支えていくには不安な状況です。神戸市北区の北部地区は病病、病診、医療・介護連携が比較的進んでおり、地域包括ケア会議などにも多職種が多数参加している現況です。

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区名
神戸市・阪神北	神戸市北区、三田市、西宮市

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

今後神戸市北区も高齢化が進んで行き、在宅医療が必要な患者がますます増加することを考えると「地域包括ケアシステム」の構築が急がれます。その中核となり得る病床が地域包括ケア病床と考えています。また、高齢化が進むにつれ何度も入退院、その後のリハビリを繰り返し、最後には自宅で終末期を迎えることとなります。即ち「ケアサイクル」があります。「地域包括ケア病床」はそれらを支えるための必須の武器になると考えます。これらをしっかりとやり抜くために「医療法人六心会」は全精力を傾けます。

(3) 既存の医療機関について、(特に、提供しようとする医療が同じものについて)

① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備 考
済生会兵庫県病院	268床	内科、外科、小児科、呼吸器外科、産婦人科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、脳神経外科、リハビリテーション科	268床の内、地域包括ケア病床：56床 その多くは自院からの急性期患者の転棟です。	
神戸アドベンチスト病院	116床	内科、外科、循環器内科、消化器内科、形成外科、小児科、産婦人科、産科	116床の内、地域包括ケア病床：38床	
甲北病院	68床	内科、外科、形成外科、小児科、皮膚科、整形外科	68床の内、地域包括ケア病床：10床	
真星病院	174床	内科、人口透析内科、外科、眼科、小児科、整形外科	174床の内、地域包括ケア病床：26床	
独立行政法人 地域医療機能推進機構 神戸中央病院	424床	全科	424床の内、地域包括ケア病床：60床	
神戸ほくと病院	121床	内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、整形外科、外科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、リウマチ科、形成外科、麻酔科、腎臓内科	121床の内、地域包括ケア病床：41床	

② 診療所の状況について

「地域包括ケア」を主体的に推し進めている診療所の医師は現在のところ少数です。バックベッドが確保でき、訪問看護と十分に連携が取れば在宅医療を行いたいと言っている医師は少なからずあります。

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

2015年神戸市北区では、75歳以上は26,633人で、2035年では47,128と推計されており、20年間で20,495人の増加となります。地域医療構想における神戸医療圏の平成37年の在宅医療需要の増加が9,782名です。

これらを考えると、今後病院への入院、施設入所もままならない状況が来ると思われます。それらを補うためには在宅医療、看護、介護を充実させる以外に手はありません。

北区の75歳以上の人口における施設整備率は15.5%であり、他の区と比較し決して多いとは言えません。

2. 医療のシステム化

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

現在、兵庫県民間病院協会が構築していますICT(病床機能・地域包括ケア/情報システム)を活用して、病病連携、医療介護連携を推進しています。今後さらに内容を充実させ、今以上に連携を深めてまいります。

恒生病院では7年前から電子カルテを運用しており、関連施設も含めて一患者、一IDシステムを構築しています。新病院を中心に、地域の医療・介護・保健福祉が総合的、一体的に提供されるようICTを活用しながら、地域の関係機関と連携し、地域包括ケアシステムの構築に積極的に取り組みたいと考えています。

(2) 医療機関との連携

医療機関名	内容	具体例	医療機関名	内容	具体例
済生会兵庫県病院	①②	紹介・逆紹介など 地区連絡会の開催	細川医院	①⑤⑦	紹介・逆紹介
神戸アドベンチスト病院	①	緩和ケア等の連携	なかた医院	①⑤⑦	紹介・逆紹介
三田市民病院	①	紹介・逆紹介	山脇クリニック	①⑤	紹介・逆紹介
ふくだクリニック	①⑤⑦	紹介・逆紹介	神戸中央病院	①	紹介・逆紹介
たかた内科クリニック	①⑤	紹介・逆紹介	岡本病院	①	紹介・逆紹介
甲北病院	①	紹介・逆紹介	兵庫中央病院	①	紹介・逆紹介
真星病院	①⑤	紹介・逆紹介	近藤内科	①	紹介・逆紹介

〈注〉内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
- ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解折等診療情報の援助
- ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
八多の里	紹介・逆紹介	特養
やすらぎの里神戸赤松台	紹介・逆紹介	特養
ストロベリー	紹介・逆紹介	ケアハウス
らぼーと	紹介・逆紹介	老健
ルシエール神戸	紹介・逆紹介	訪問看護
向陽りんどう苑	紹介・逆紹介	老健
桃源の郷	紹介・逆紹介	老健

〈注〉医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設
(老人関係、精神関係、身障関係)等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加 (住民の健康管理等)

現在、地域ケア会議や神戸市北区地域包括ケア推進総括協議会に参加し、地域住民に対して、医療・介護に関する講演会やセミナーを開催したり、認知症予防、介護予防の健康指導や健康体操の推進・啓発を積極的に行っています。

今回の計画では、地域住民が気軽に利用できるオープンスペース(地域交流センター)を設置し、講演会をはじめ、健康教室や認知症カフェなどを催し、地域住民同士が交流を図るとともに、住民主体・住民参加の地域づくりを行いたいと考えています。

また、地域住民や医療・介護等の関係機関に当法人の考えや、地域包括ケア病床の役割や機能を十分に理解していただくよう、積極的に説明や広報活動を行っていきます。

4. その他の特記事項

今回の事業計画は新設病院のみならず、サービス付高齢者住宅、デイケアを併設し、また、訪問看護・訪問介護・訪問リハビリ居宅介護支援事業所を移転して同じフロアに集約的に配置し、連携を密にとることで、総合的な医療、介護、生活支援が連続した包括的支援が可能となることを目的に計画しています。

また、同敷地内に「社会福祉法人 黎明会」と協働し、特別養護老人ホームの設置を検討しています。今後、神戸市と十分に話し合い認可を求め、地域包括ケア病床を中心とした、神戸市における、地域包括ケアシステムの先駆的事业となるべく努力していきたいと考えています。

開設に要する資金

資金計画

(単位:千円)

項目	所要額	自己資金	借入金			備考
			福祉機構	SMBC	関西アーバン	
土地購入費	280,000	10,000	196,000	84,000		
設計管理費	42,600		29,820			
建物建設費	1,377,400	150,000	690,180	500,000	238,000	
医療機器購入費	20,000					
什器備品購入費	20,000					
保証金						
諸税	158,000					
開設時運転資金	80,000	80,000				
その他費用						
計	1,978,000	240,000	916,000	584,000	238,000	

返済計画

金融機関名	返済条件				初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据置期間	償還回数 回×年	利率 %		31年4月 ~32年3月	32年4月 ~33年3月	33年4月 ~34年3月	34年4月 ~35年3月	35年4月 ~36年3月
福祉機構	2年	年12回 ×30年	1.3%	元本	0	0	32,712	32,712	32,712
				利息	11,932	11,883	11,713	11,288	10,885
SMBC	無し	年12回 ×20年	1.3%	元本	29,196	29,196	29,196	29,196	29,196
				利息	7,433	7,024	6,659	6,279	5,912
関西アーバン	無し	年12回 ×20年	1.3%	元本	11,892	11,892	11,892	11,892	11,892
				利息	3,029	2,862	2,714	2,559	2,409
				元本					
				利息					
合計				元本	41,088	41,088	73,800	73,800	73,800
				利息	22,394	21,769	21,086	20,126	19,206
年度末借入金残額					1,696,912	1,655,824	1,582,024	1,508,224	1,434,424

損益的収支予算書（総括）

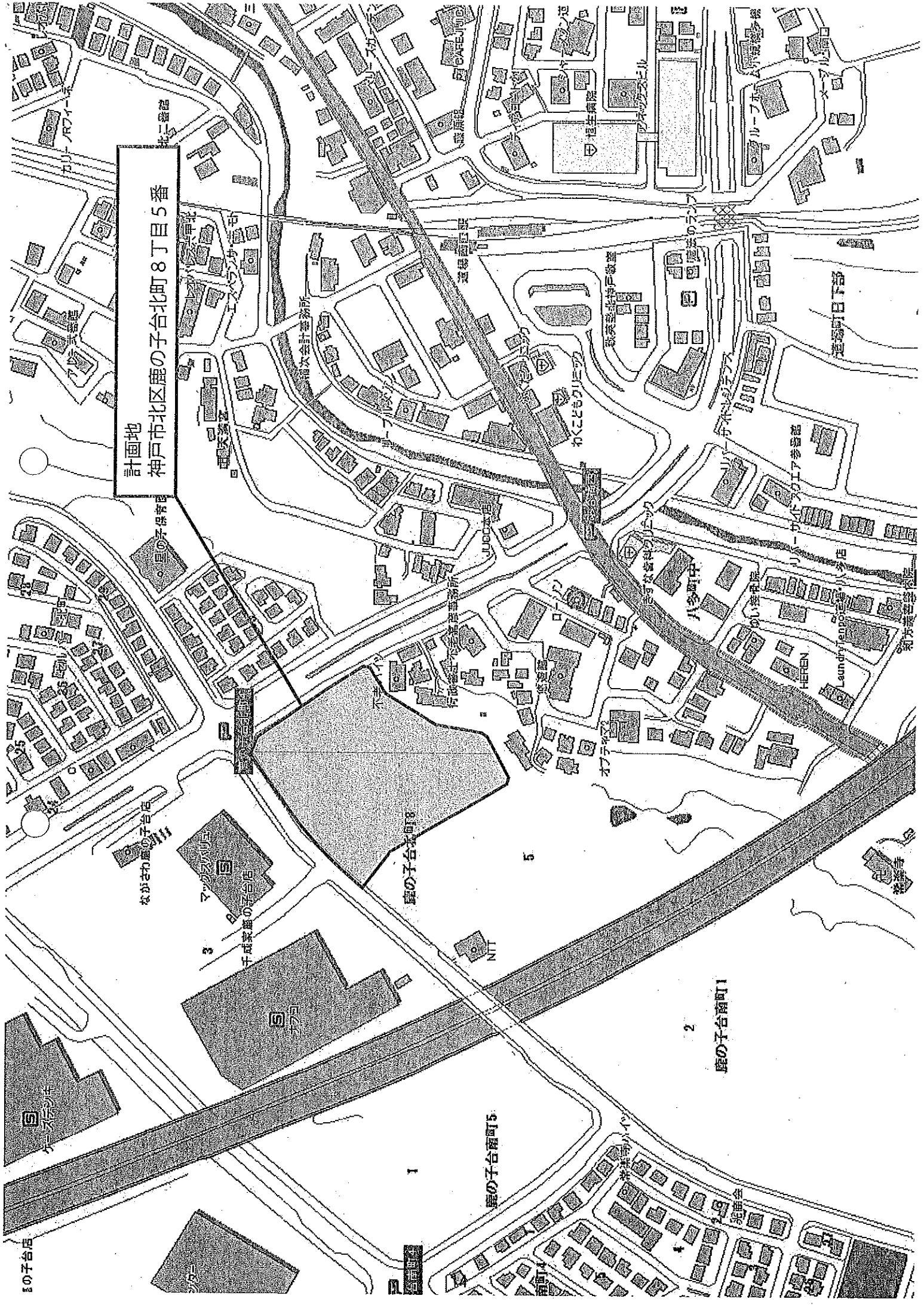
（単位：千円）

	初年度 (31年4月～32年3月)	次年度 (32年4月～33年3月)	3年度 (33年4月～34年3月)	4年度 (34年4月～35年3月)	5年度 (35年4月～36年3月)
I 医業収益	487,068	645,578	645,578	645,578	645,578
II 医業費用	551,406	551,406	551,406	551,406	551,406
医業利益(医業損失)	-64,338	94,172	94,172	94,172	94,172
III 医業外収益	410	410	410	410	410
IV 医業外費用	22,794	22,169	21,486	20,526	19,606
經常利益(經常損失)	-86,722	72,413	73,096	74,056	74,976
V 特別利益					
VI 特別損益					
税引前当期利益(税引前当期損失)	-86,722	72,413	73,096	74,056	74,976
当期純利益(当期純損失)	-86,722	50,689	51,167	51,839	52,483
前期繰越利益(前期繰越損失)		-86,722	-36,033	15,134	66,973
当期末処分利益(当期末処理損失)	-86,722	-36,033	15,134	66,973	119,456

資本的収支予算書

（単位：千円）

		初年度 (31年4月～32年3月)	次年度 (32年4月～33年3月)	3年度 (33年4月～34年3月)	4年度 (34年4月～35年3月)	5年度 (35年4月～36年3月)
資本的支出	建設改良費	1,420,000				
	借入金(元本)償還	41,088	41,088	73,800	73,800	73,800
	固定資産購入費その他	558,000				
	計	2,019,088	41,088	73,800	73,800	73,800
財源内訳	内部資金	281,088	41,088	73,800	73,800	73,800
	借入金	1,738,000				
	補助金					
	その他					
	計	2,019,088	41,088	73,800	73,800	73,800
財源不足額		0	0	0	0	0



計画地
神戸市北区鹿の子台町8丁目5番

ながさわの子ども店

マックスビル
千成東屋の子台店

鹿の子台町8

5

鹿の子台南町5

鹿の子台南町1

10の子台町

計画地

南町4

北町

東町

西町

南町

北町

東町

西町

南町

北町

東町

西町

南町

北町

東町

西町

南町

北町